

千布小学校だより

3月号 R3.3.22
天童市立千布小学校
校長 多勢 弘子

新時代の未来を創る子供たちへ

3/19 卒業証書授与式

ピンチをチャンスに変え、新たな学校生活の楽しみ方を創った、たくましい27名に卒業証書を手渡しました。

今までのような、当たり前の生活が何もなかった1年間。元にもどることをじっと待っていてはだめだ。「今」できることから始めようと、常に挑戦し続けた6年生でした。

暑い夏の日傘登校。自分の命は自分で守る。恥ずかしいなんて言ってもらえない。暑い朝、堂々と傘をさして先頭を歩く通学班長はとても凛々しく見えました。

大きな声で応援するたくましい運動会でなくてもいいじゃない、みんなが楽しめる運動会にしようと、6年生が企画と運営をしました。安全を考え入念にリハーサルもしたおかげで、校舎内の活動でしたが、けがもなく、みんな笑顔で楽しんだ、あたたかい運動会になりました。

48年目の新宿四谷小との交流会が中止となり、途切れかけた歴史をリモート交流という新たな形で見事につなぎました。

振り返れば、IoT 新時代の未来を創る子供たちにふさわしく、6年生のスタートは分散登校中のリモート朝会でした。Ipadを持ち帰り、各家庭からZoomアプリで教室に入るといふ、昭和時代の私には、まさしく空想のはるか未来の世界の話です。コロナ禍により一人1台タブレットが急速に進み、その未来が今や現実になりました。

しかし、6年生は初めての未来の教室に出席するときも、肩にインコをのせたり、猫やプラモデルも並べたり、緊張など全くなく、まるで楽しみ方をすでに知っているかのようで、とても驚きました。

さらに、最後も四谷小とのリモート交流会でした。ともに時間を共有した仲間は、いつか千布に会いに来てくれる、そんな予感さえありました。

ピンチをチャンスに変える挑戦を続けた6年生の皆さんなら予測困難で不安な未来ではなく、楽しく幸せな未来にきっと変えてくれるでしょう。

これからの活躍をお祈りいたします。



1年間をふりかえって



わたしは、1年生になってがんばったことが2つあります。

1つ目は、こくごです。音どくをまい日がんばりました。「これは、なんでしょう」のクイズではでんしこくばんを、もんだいにしました。おともだちとたくさんかんがえて、ヒントを「なんでもうつけます。」「パソコンといっしょにつかえます。」としました。みんなが、あててくれたので、うれしかったです。

1年

2つ目は、せいかつの「いきものとなかよし。」です。わたしは、8月3日に生まれた赤ちゃんカタツムリのおせわをしています。とてもかわいいので、いままで、ずっと大せつにそだててきました。まい日

「ずうっと、ずっと大すきだよ。」と、いっています。

2年生になっても、ずっといっしょに大きくなっていきたいので、がんばります。

4月 主な行事予定

5日(月)	PTA 事務局会
7日(水)	新任式・始業式
8日(木)	入学式
9日(金)	登校指導 PTA 各種委員会
12日(月)	身体測定
14日(水)	交通教室
15日(木)	PTA 常任委員会
16日(金)	通学班会 一斉下校
21日(水)	避難訓練
24日(土)	授業参観 PTA 総会 学級懇談会
26日(月)	振替休業日



「山形県天童市の小学校で東京の児童とリモート交流会」
3/7(水)YTS 放映のニュースは、インターネットでご覧いただけます。上記の内容で検索または、右のQRコードをお使いください。※期間限定



令和3年度人事異動により、7名の職員が退職・転任になりました。大変お世話になりました。

おしらせ

教 頭	: 須藤 仁	市教委へ
教 諭	: 堀川 るり子	退職
教 諭	: 瀬野 淳	荒谷小へ
講 師	: 鈴木 千夏	成生小へ
養護助教諭	: 新田 尚子	津山小へ
主 事	: 笹 廣佑	荒谷小へ
学習指導員	: 長岡 満夫	退職



これからも感染状況による変更が予想されます。詳細については随時学校ホームページでお知らせしております。学校の様子も含め、ぜひご覧ください。
学校ホームページ <https://www.hosinuno.jp/>

